



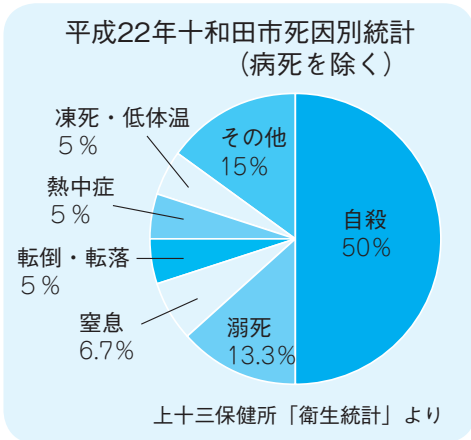
自殺予防に取り組もう

平成22年中に病気以外で亡くなった市民のかたは60人です。主な原因は、自殺が全体の50%で、次に溺死13.3%、窒息6.7%となっています（右記グラフ参照）。

自殺は、60代に多く金銭や健康、家族間の人間関係などさまざまな問題が要因となっています。市では自殺対策を最重要課題として、今後は消費生活相談などの各種相談会の開催回数を増やすなどして自殺予防に取り組むことにしています。

溺死は、60歳以上のかたが犠牲になっており、用水路への転落、川釣りで溺れるなど、不注意が要因となっています。今後、屋外で過ごす機会が増えますので気をつけましょう。

窒息は、70歳以上のかたが犠牲になっています。ご飯やパンなどの食べ物が原因となることが多いため、毎日の食事にも注意が必要です。



セーフコミュニティ対策部会 ボランティアを募集します

市は安全・安心なまちづくりを進めるため、8部会で構成するセーフコミュニティ対策部会を設置し、それぞれの問題や課題、対策について検討しています。そこで、新たに各部会の委員として参加できるボランティアを募集します。

セーフコミュニティ対策部会

- ①子ども②高齢者③自殺④交通事故
- ⑤防災⑥暴力・虐待⑦スポーツ・観光⑧労働

対象 7月から11月まで3回開催する会議に参加できるかた

定員 各部会とも2～3人程度

申し込み方法 6月16日(木)までにセーフコミュニティ推進室 ☎⑤6777へ

下水道で快適な生活を ～事業認可区域が広がりました～

問 下水道課計画普及係 ☎⑤4015

次の区域は、平成23年度より公共下水道認可区域になり、平成28年度末までの計画で公共下水道の整備を行います。なお、この認可区域内は市が行っている浄化槽整備事業の適用範囲外となります。

◆新たな事業認可区域

次の区域のそれぞれの一部が事業認可区域となりました。

- ・大字深持字南平、長根尻
- ・大字三本木字上平、下平、千歳森、北平、一本木沢、里ノ沢、稲吉、西小稲、西金崎、
- ・大字相坂字高清水、相坂、長漕
- ・大字赤沼字下平
- ・元町西六丁目、東五丁目
- ・一本木沢一丁目、二丁目
- ・東十五番町、東十六番町、東二十一番町、東二十二番町、東二十三番町

